

## 第4回 茨城県広域避難者アンケート調査結果(速報)

2019年3月

茨城大学人文社会科学部 市民共創教育研究センター

<調査責任者> 茨城大学人文社会科学部・教授 原口弥生

○目的 東日本大震災ならびに福島第一原発事故により被災し、茨城県内で生活されている方（広域避難者）の多様な状況の把握し、現状に即した政策・支援のあり方を検討するため。

○調査時期 2018年10月～11月末

○調査対象者 東日本大震災・福島原発事故の被災後、茨城県内に在住の方

○調査方法 「茨城県内への避難者・支援者ネットワーク ふうあいねっと」発行の「おたより」に同封して、市町村経由で発送。（一部自治体では別に送付）

○回収率 14.9% （発送数1243票、回収数185）

○記載事項について

（1）特に記載がない場合は、母数は185である。

（2）百分比（%）は、小数点第二位で四捨五入し、小数点第一位までを算出した。そのため、比率の合計値が100%にならない場合がある。

調査協力：茨城県内の各市町村、茨城県内への避難者・支援者ネットワーク ふうあいねっと

\*本調査は、JSPS科研費16K12367の助成を受けて実施

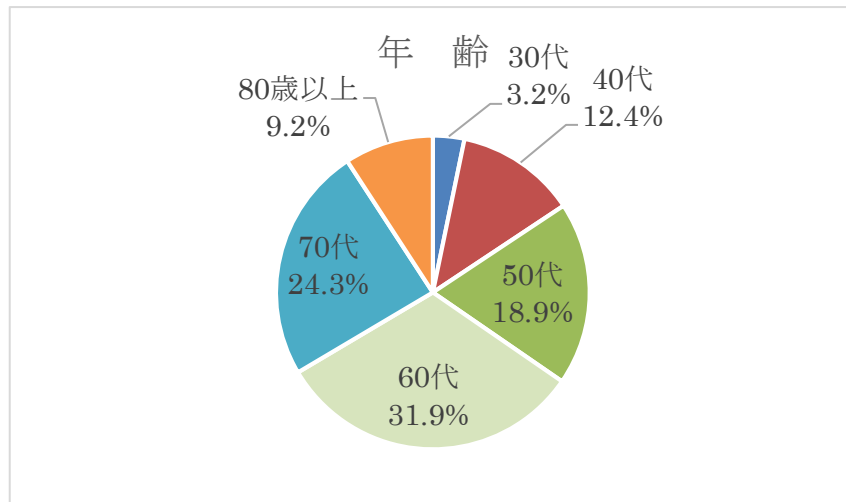
**1. ご自身とご家族について** 回答欄の該当する番号に○をつけて下さい（○は一つ）

（1）世帯主との続柄 （2）性別

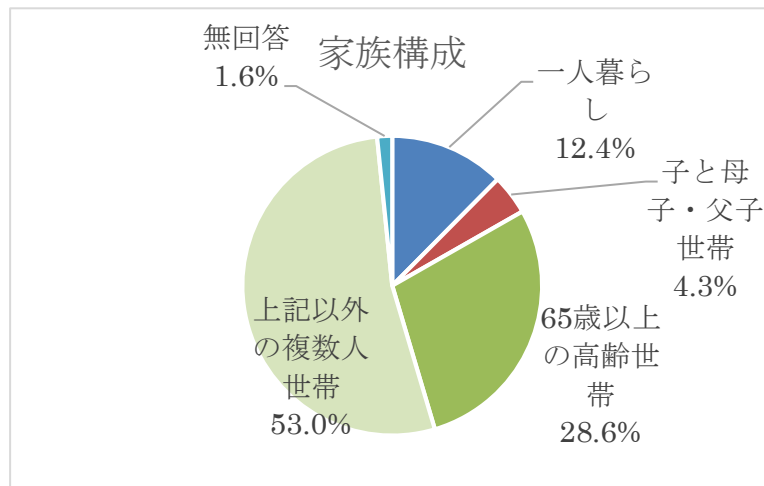
(%)

（1）世帯主との続柄	本人	配偶者	父母	子ども	その他
	67.0	28.6	1.6	2.2	0.5
（2）性別	男性	女性	無回答		
	50.3	48.6	1.1		

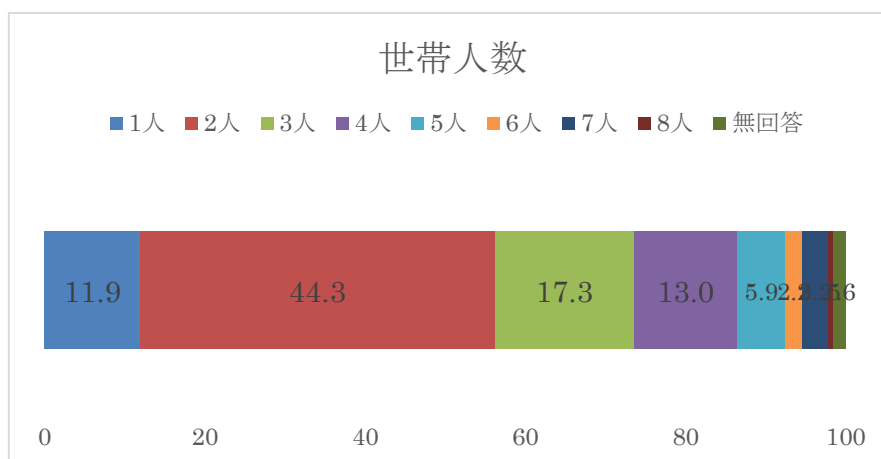
(3) 年齢



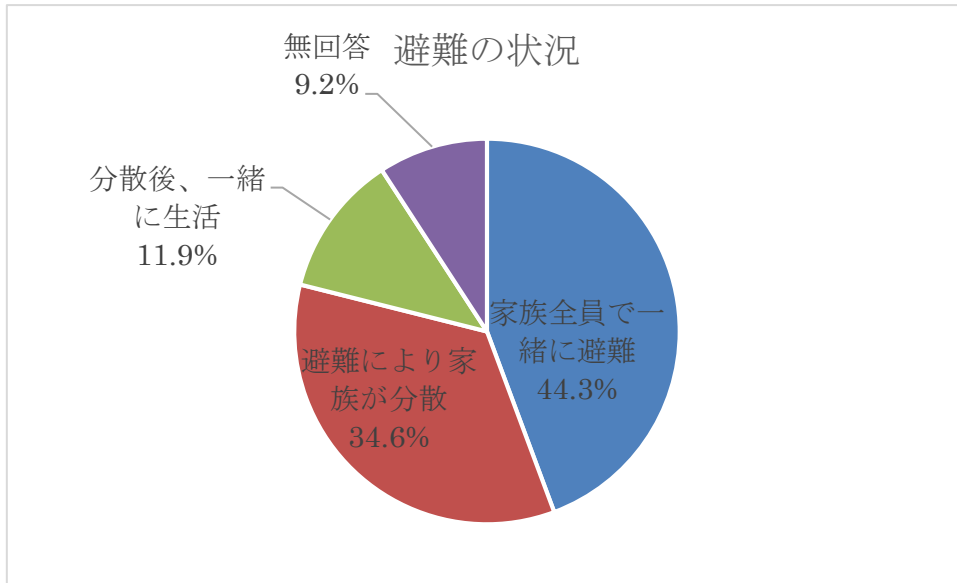
(4) 家族構成



(5) 世帯人数

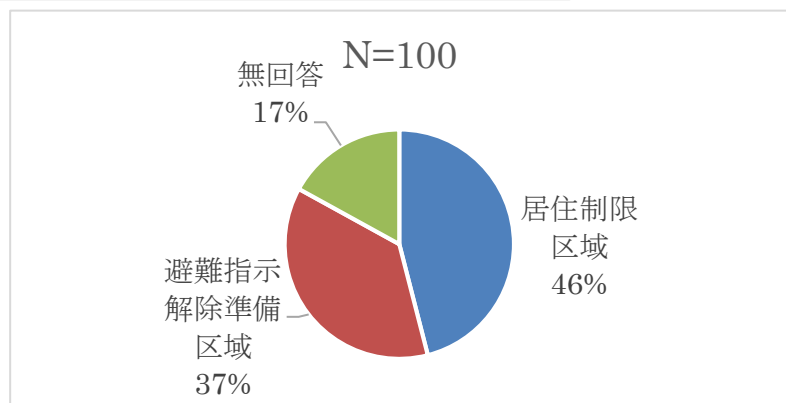
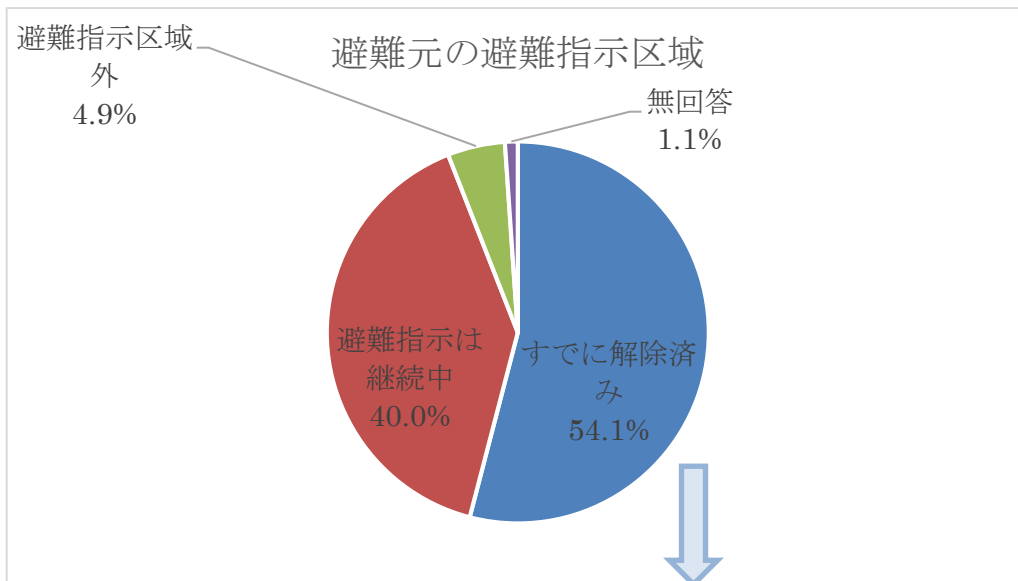


(6) 避難の状況



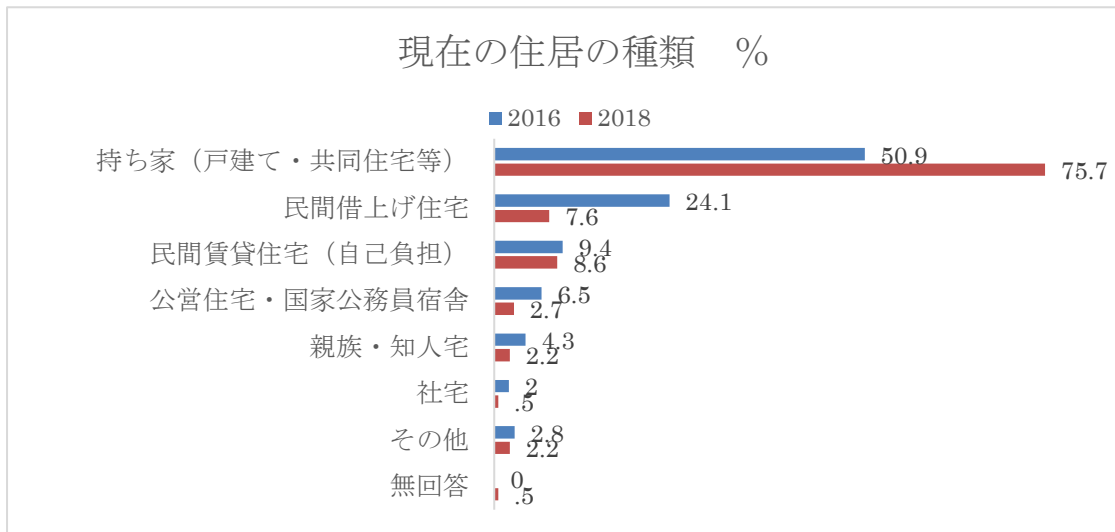
(7) 震災前の住所 福島県 98.9% (183人)、宮城県 0.5%、その他 0.5% (自宅は福島)

(8) 避難指示区域

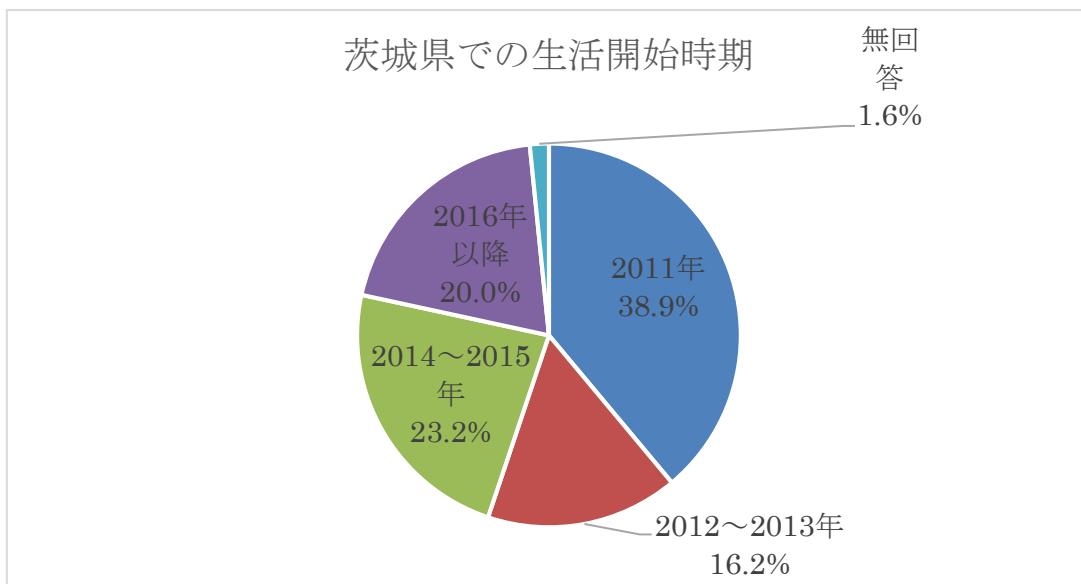


(9) 現在の住所 省 略

(10) 現在の住居の種類



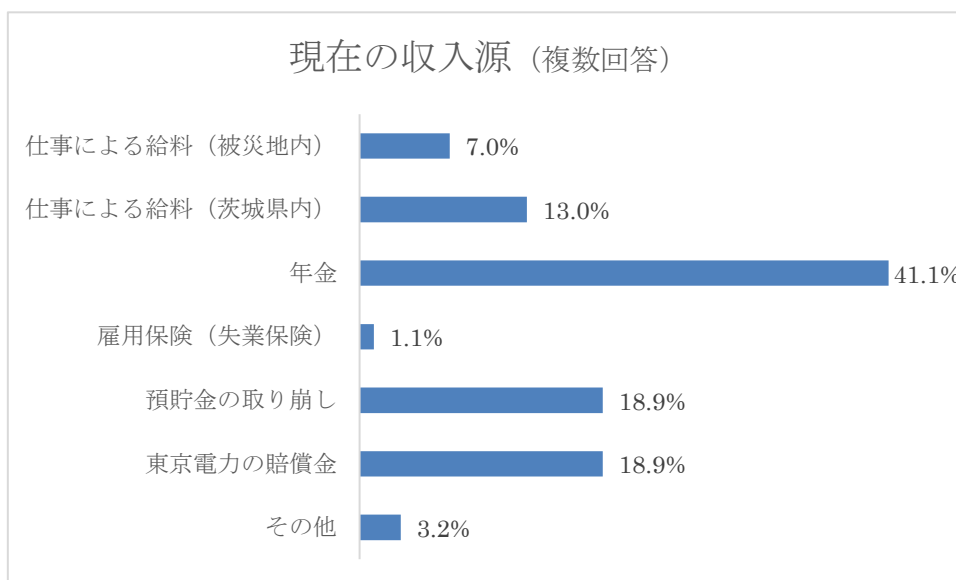
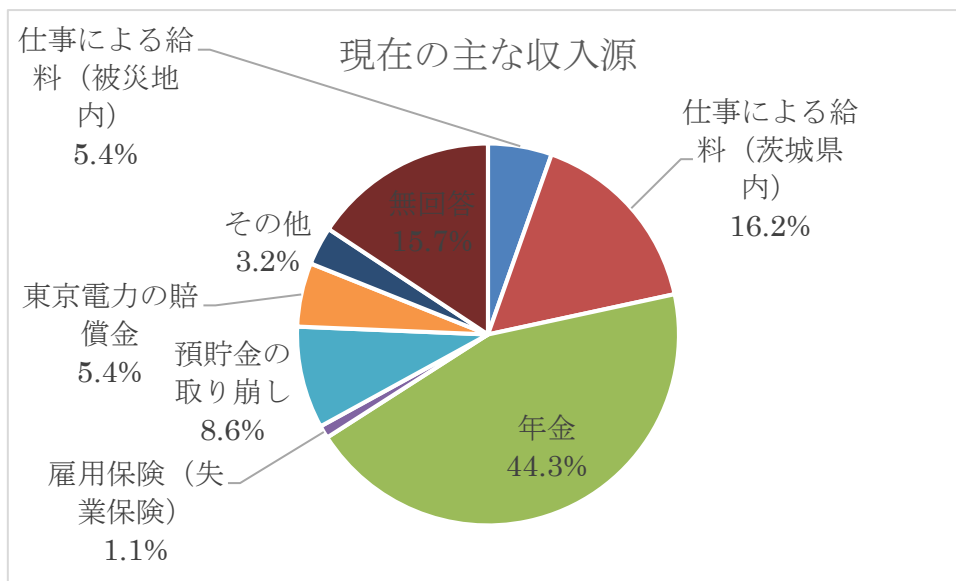
(11) 茨城県で生活を始めた時期



**2. 現在の生活について**

(12) 現在の収入源についてお答えください。(最も重要な収入源一つに◎、他の収入源に○)

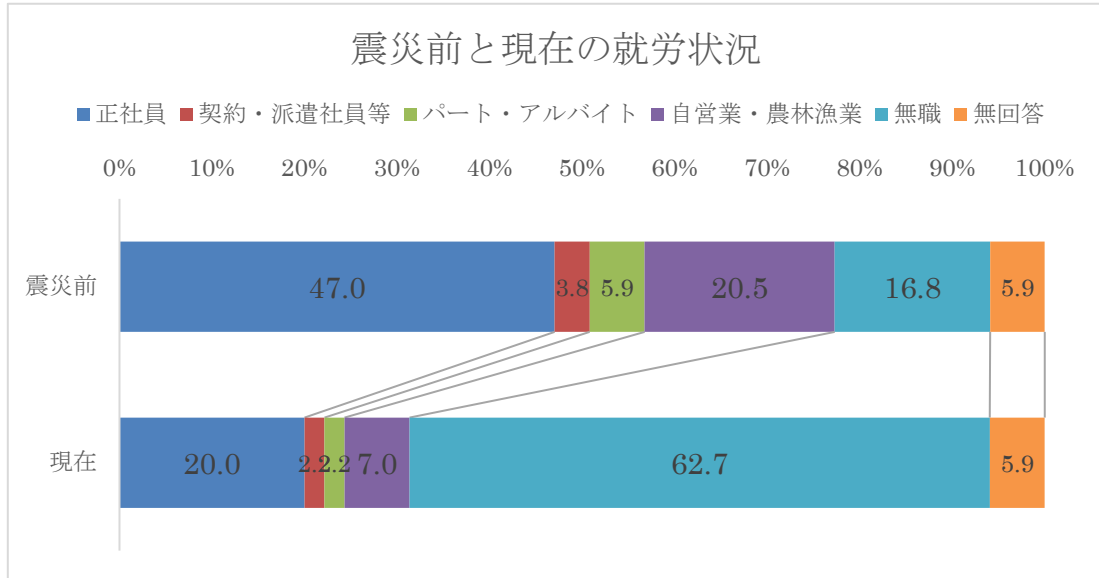
- |                  |                  |             |             |
|------------------|------------------|-------------|-------------|
| 1. 仕事による給料(被災地内) | 2. 仕事による給料(茨城県内) | 3. 休業手当     |             |
| 4. 年金            | 5. 雇用保険(失業手当)    | 6. 預貯金の取り崩し | 7. 東京電力の賠償金 |
| 8. その他 ( )       |                  |             |             |



(13) 世帯主の方の「震災前」および「現在」の就労状況について、番号をお答えください。

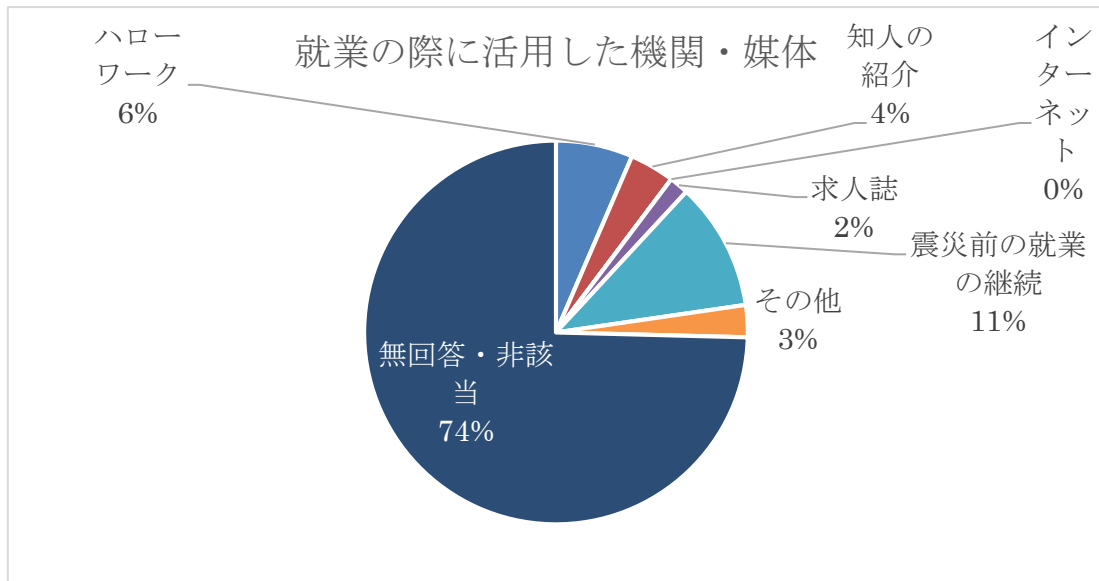
①震災前 ( )                      ②現在 ( )

- |              |             |              |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 正社員       | 2. 契約・派遣社員等 | 3. パート・アルバイト |
| 4. 自営業・農林水産業 | 5. 無職 (休職中) | 6. 無職        |



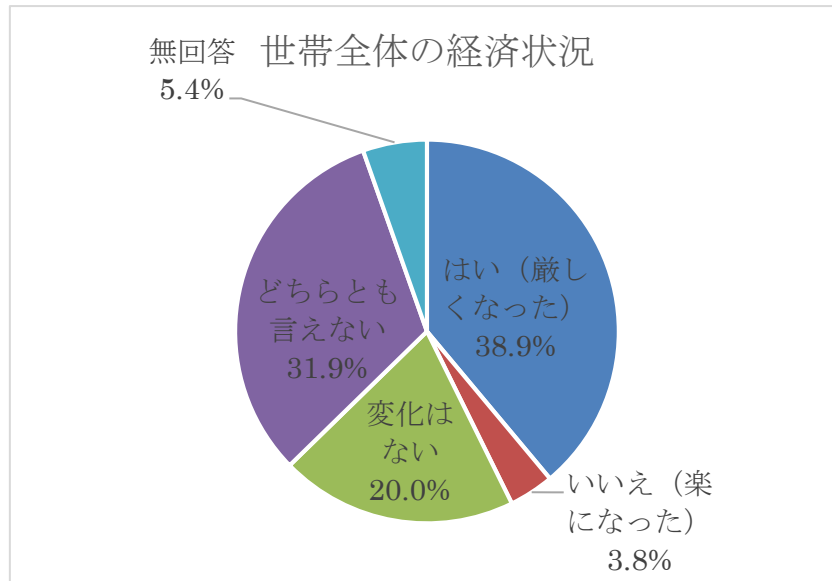
(14) 現在、茨城県内で就業中の方にお伺いします。就業にあたり、もっとも活用された機関または媒体についてお答えください。(〇は一つ)

1. ハローワーク      2. 知人の紹介      3. インターネット  
 4. 求人誌      5. 震災前の就業の継続      6. その他 (      )



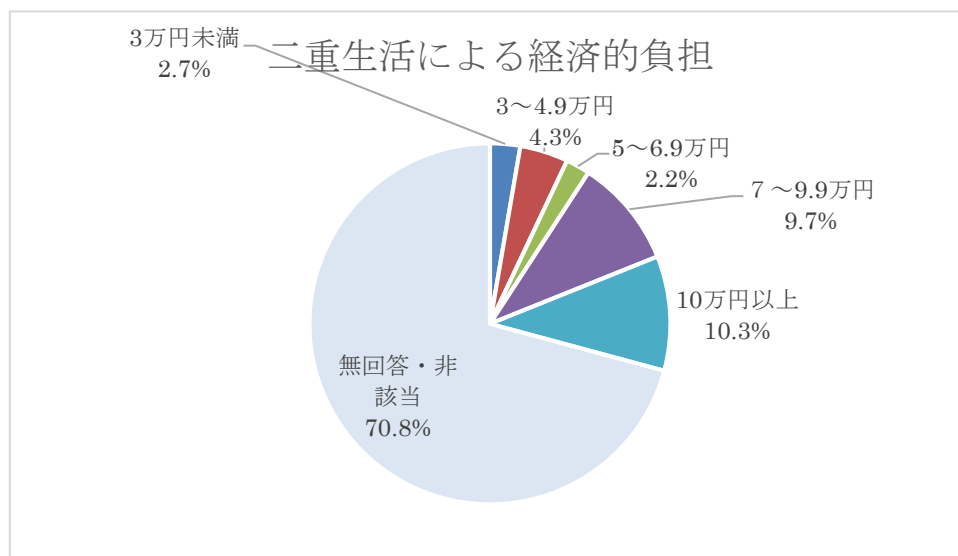
(15) 震災後、離れているご家族も含めて世帯全体の経済状況は厳しくなりましたか？

1. はい (厳しくなった)      2. いいえ (楽になった)      3. 変化はない  
 4. どちらとも言えない



(16) 分散避難・母子避難などで二重生活をしている場合、二重生活による経済的負担増は、月あたりいくら位ですか？

1. 3万円未満    2. 3～4.9万円    3. 5～6.9万円    4. 7～9.9万円    5. 10万円以上



(17) 現在の住まいに関して困っていること、不安なことについてお答えください。

(〇はいくつでも)

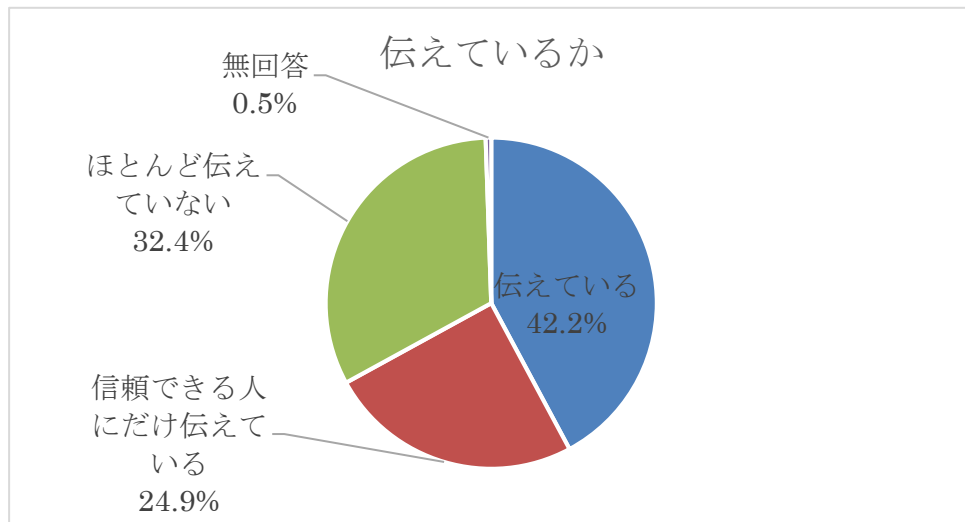
1. 住居が狭い    2. 応急仮設住宅の入居期間    3. 設備や構造    4. 騒音や振動  
5. 近隣との人間関係    6. 住居の場所が不便    7. 今後の度重なる引っ越し





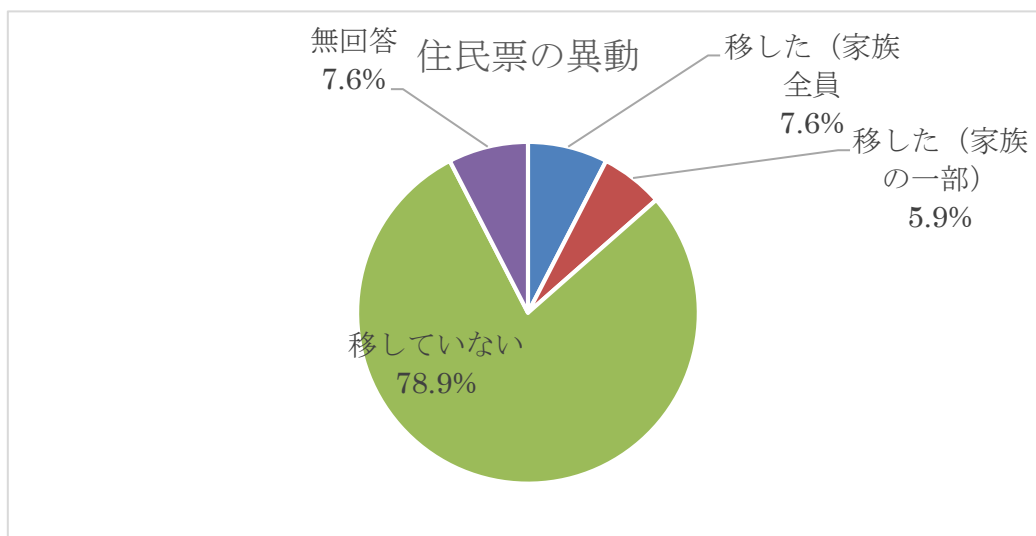
**(20) 周りの方に、震災・原発事故の影響により茨城で生活していることを伝えていきますか？**

1. 伝えている      2. 信頼できる人にだけ伝えている      3. ほとんど伝えていない



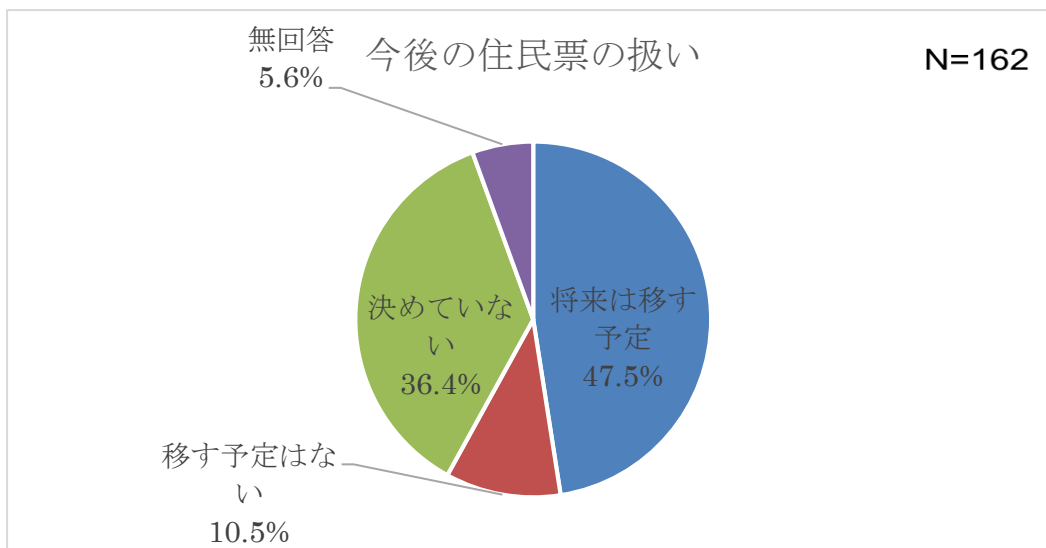
**(21) 住民票は、現在お住まいの住所に移しましたか？**

1. 現住所に移した（家族全員） → (問 22 ～)      2. 現住所に移した（家族の一部） (問 21-2 ～)      3. 住民票は移していない (問 21-2 ～)



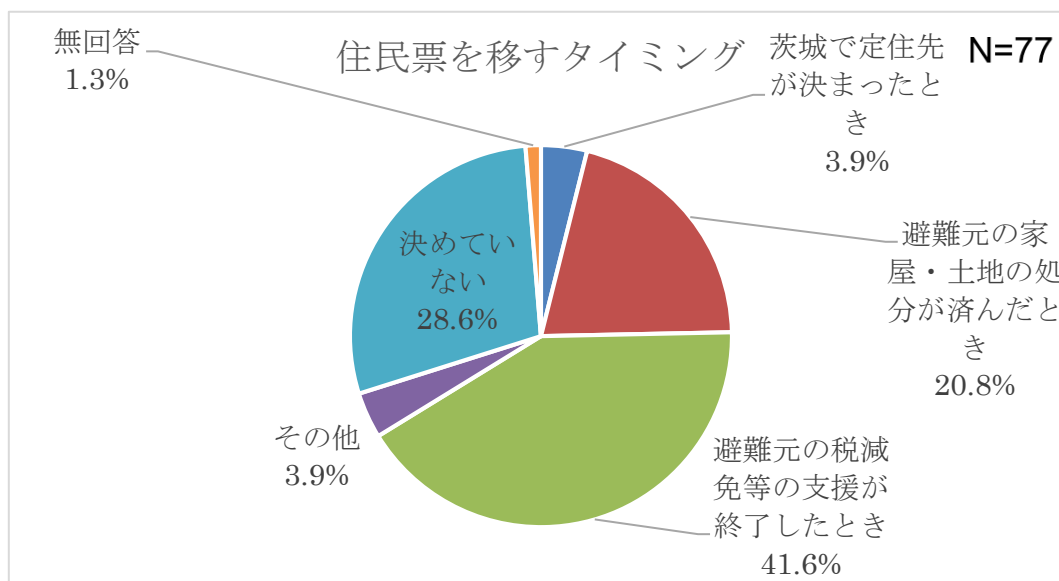
**(21-2) 住民票の異動について、どのように考えていますか？**

1. 将来的には、居住先の住所に移す予定 ↓      2. 移す予定はない → (問 22 ～)      3. 決めていない ←



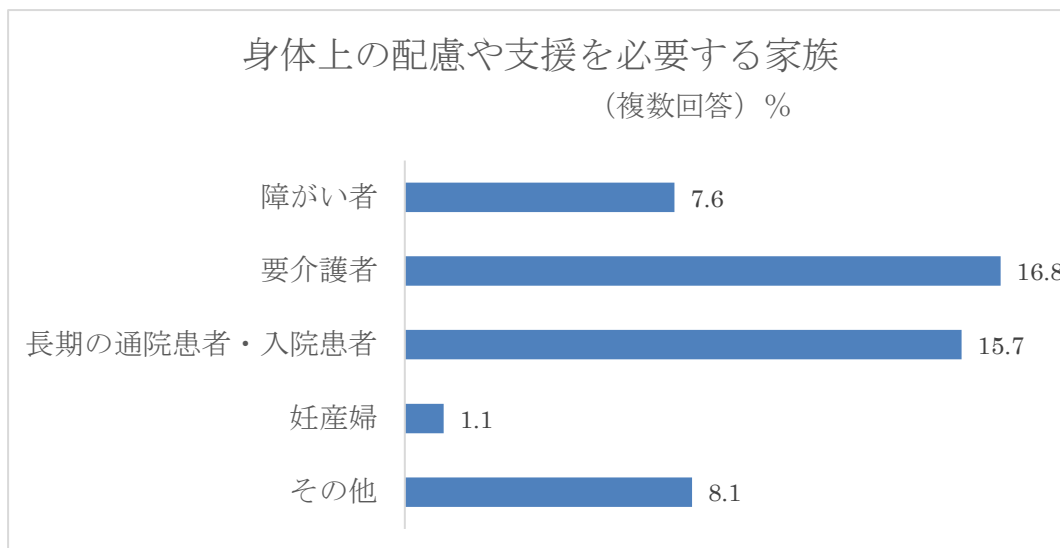
**(21-3) どのタイミングで移す予定ですか？(〇は一つ)**

1. 茨城で定住先が決まったとき（住宅確保など）
2. 避難元の家屋・土地の処分が済んだとき
3. 避難元の税減免等の支援が終了したとき
4. その他（ ）
5. 決めていない



**(22) 現在、ご家族（回答者を含む）のなかに、身体上特別配慮や生活上の支援を必要とする方はいらっしゃいますか？(〇はいくつでも)**

1. 障がい者
2. 要介護者
3. 長期の通院患者または入院患者
4. 妊産婦
5. その他

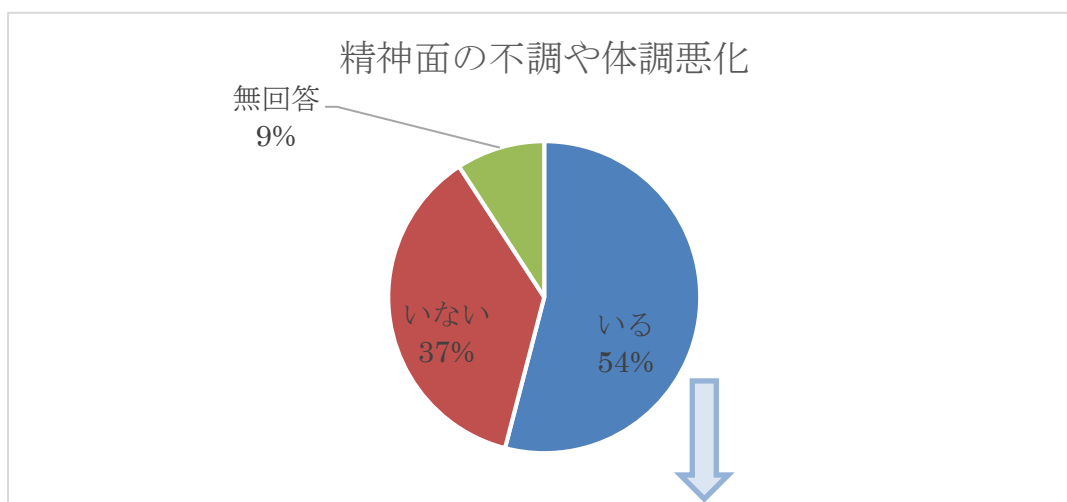


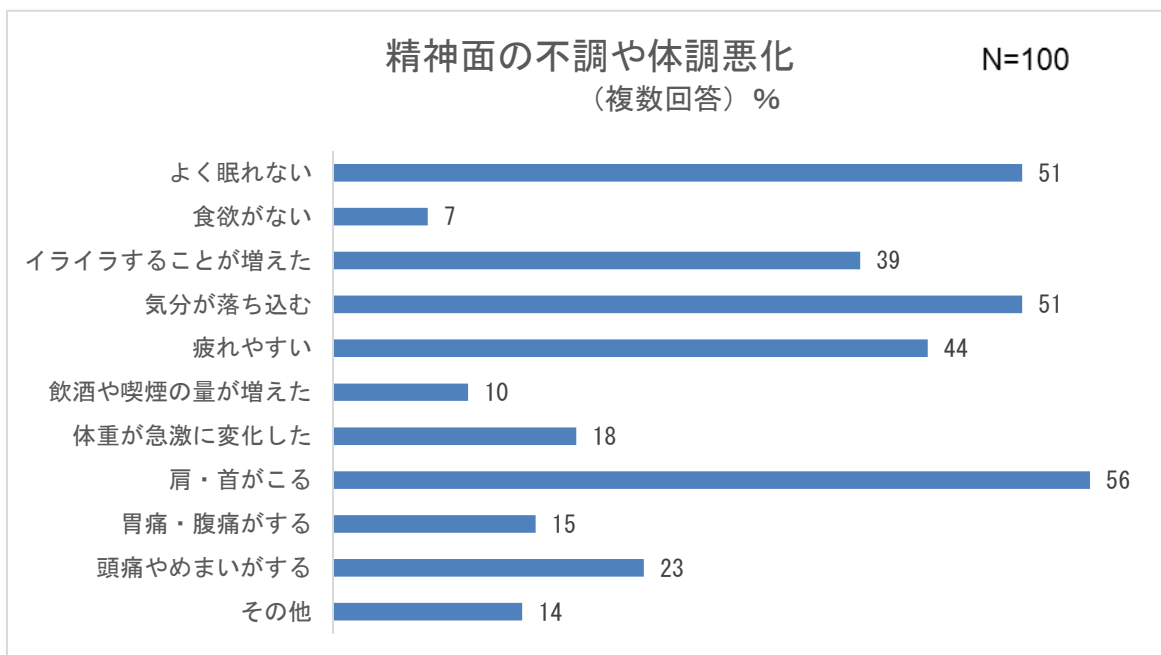
(23) ご家族の中で、現在、精神面の不調や体調悪化などを訴える方はいらっしゃいますか？

1.  いる                      2.  いない

(○はいくつでも)

- |             |                |                                  |            |
|-------------|----------------|----------------------------------|------------|
| 1. よく眠れない   | 2. 食欲がない       | 3. イライラすることが増えた                  | 4. 気分が落ち込む |
| 5. 疲れやすい    | 6. 飲酒や喫煙の量が増えた | 7. 体重が急激に変化した                    | 8. 肩・首がこる  |
| 9. 胃痛・腹痛がする | 10. 頭痛やめまいがする  | 11. その他 (                      ) |            |

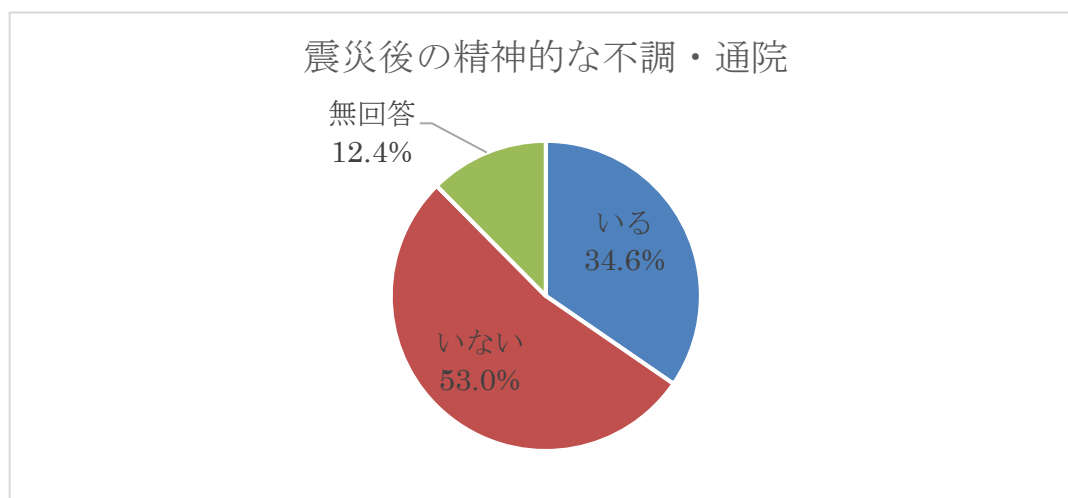




(24) ご家族のなかで、震災後の精神的な不調により、治療・通院されている方はいらっしゃいますか？

1. いる

2. いない



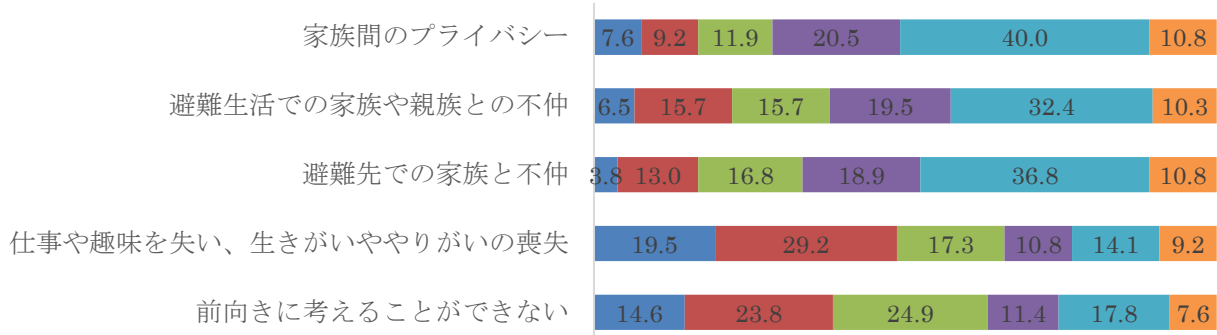
(25) 平穏な日々が失われたことについて、お気持ちに一番近い選択肢をそれぞれご記入ください。

- ①避難先の住宅は狭い等で、家族間のプライバシーが守られなくなった ( )
- ②避難生活により、避難元の家族や親戚と意見が合わず、不仲になった ( )
- ③避難先で家族の意見が合わず、不仲になった ( )
- ④仕事(生業、畑仕事を含む)や趣味を失って、「生きがい」や「やりがい」がなくなった ( )
- ⑤以前の日々の生活を思い出し、これからの生活を前向きに考えることができなくなった ( )

1. 強くあてはまる    2. あてはまる    3. どちらとも言えない    4. あまりあてはまらない  
5. あてはまらない

## 平穏な気持ちを失った気持ち

■ 強くあてはまる ■ あてはまる ■ どちらとも言えない  
 ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない ■ 無回答



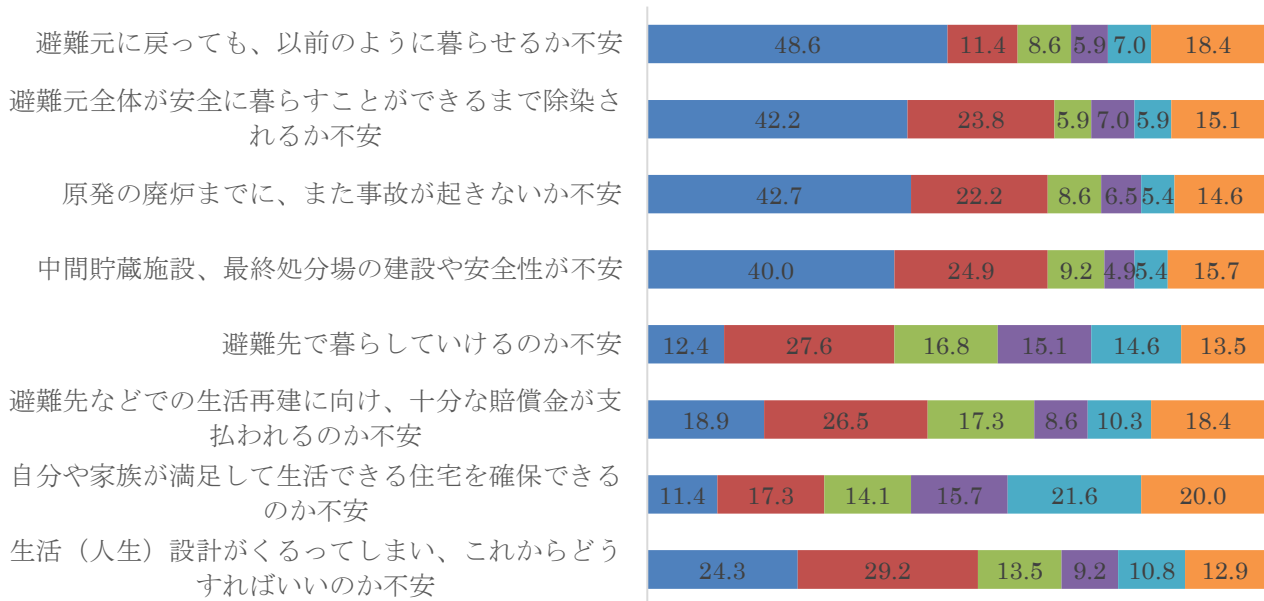
### (26) 先の見通しが見つからない不安について、お気持ちに一番近い選択肢をそれぞれご記入ください。

- ① 避難元に戻っても以前のように暮らせるか不安 ( )
- ② 土壌や水質も含め、避難元全域が安全に暮らすことができる線量まで除染されるのか不安 ( )
- ③ 原発の廃炉までに、また事故が起きないか不安 ( )
- ④ 中間貯蔵施設、最終処分場の建設や安全性が不安 ( )
- ⑤ 避難先で暮らしていけるのか不安 ( )
- ⑥ 避難先等での生活再建に向け、十分な賠償金が支払われるのか不安 ( )
- ⑦ 自分や家族が満足して生活できる住宅を確保できるのか不安 ( )
- ⑧ 生活（人生）設計が狂ってしまい、これからどうすればいいのか不安 ( )

1. 強い不安 2. ある程度不安 3. どちらとも言えない 4. あまり不安でない 5. 不安でない

## 見通しがつかない不安

■強くあてはまる ■あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■あてはまらない ■無回答

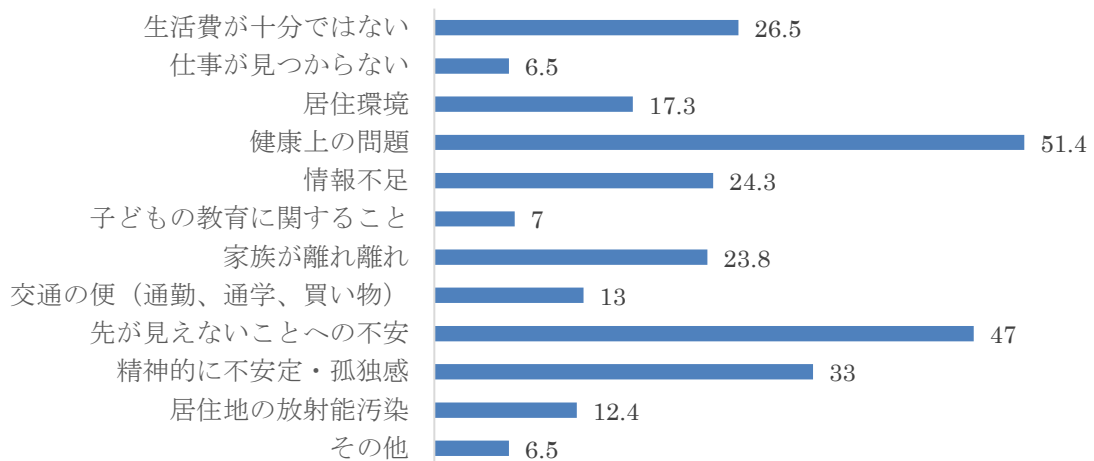


## (27) 現在の生活で困っていることを教えてください。(〇はいくつでも)

1. 生活費が十分でない
2. 仕事が見つからない
3. 居住環境
4. 健康上の問題
5. 情報不足
6. 子どもの教育に関すること
7. 家族が離れ離れになっていること
8. 交通の便（通勤、通学、買い物など）
9. 先が見えないことへの不安
10. 精神的に不安定・孤独感
11. 居住地の放射能汚染
12. その他（ ）

## 現在、困っていること（複数回答）

%



### 3. 被災者支援にたいするご要望など

(28) ご家族のなかで（回答者を含め）、支援機関（市町村・民間の支援団体）からの戸別訪問を希望される方はいらっしゃいますか？（〇はいくつでも）

1. 戸別訪問を希望する

2. 電話連絡を希望する

3. 希望しない

（→問 30 にお進みください）

内 容	人数	%
戸別訪問を希望	12 人	6.5
電話連絡を希望	7 人	3.8
希望しない	142 人	76.8

(29) 個別訪問や電話連絡では、どのようなことを相談したいですか？

○ 自由記述 12 件

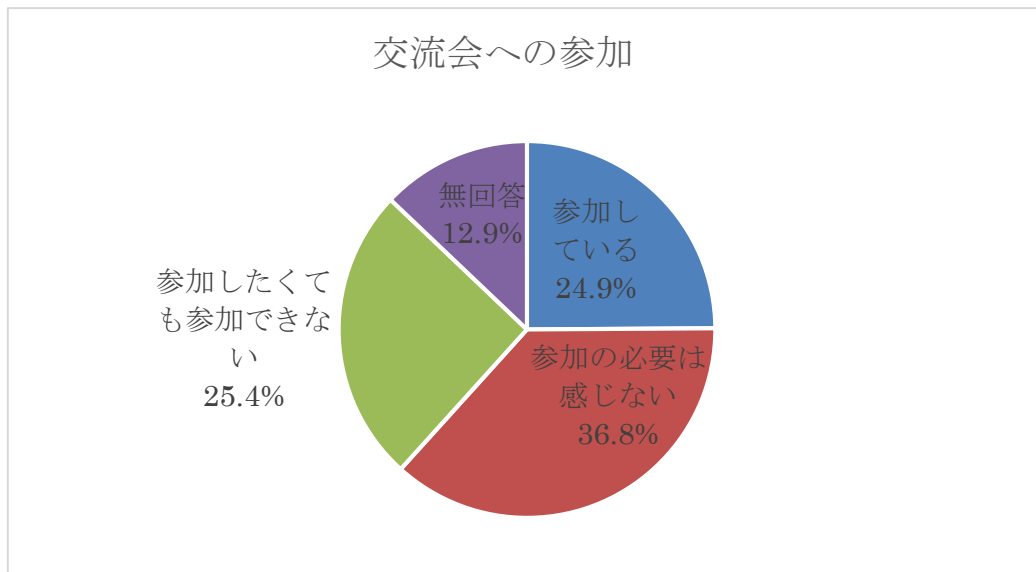
水戸での生活状情報や、今後の交流会など
コミュニケーションをとりたい
今後の事.
保証人の関係
むずかしい賠償の手続・弁護士・税理士・税相談・法律相談。交流 コミュニティ(ひたちなか)
町の現在の様子
地域情報、交流等の支援。
避難先で土地・家を求めた時、これから求めるときに控除される税金。土地選び、メーカー(ハウス)選びのアドバイスや情報。
放射能せん量に対しての賠償金をもらいたいです。
職が落ち着かない(入ってもすぐにやめる羽目になってしまう)
就業支援など、他。
相談したい事が訳からない

(30) 被災者が集う交流会に参加していますか？

1. 参加している

2. 参加の必要は感じない

3. 参加したくても参加できない



(31) 交流会について、具体的な要望やご提案があれば教えてください。

○ 自由記述 30件

観光地やイベント等外出すれば気分が快い。講和なども聞きたい。
どうしても土日にかたよっている
交流会の場所が遠い所
開催場所が遠かったり、平日だと参加しかねる。
関わりたくない
遠いのでつかれる為、又、ただのおしゃべり会なら行かなくて良いと考えている。
独り身なので行ってもしようがない。つまらない。幸せそうな家族を見るとうんざりする。
お茶会、食事会などの交流会が近くでもう少し回数がほしい。
日立には交流会がない遠い所までは行けない。
高齢であるし地理的にもわからないし出席することはできないし、知っている人ももう居ないのでは？と思います。
情報不足、日程の調整、交通の便(遠方が多い)などと、被災者と位置付けられた集会には気が進まないのです。
なるべく住所(住まいの近く)の場所で交流会を行って欲しいです。
被災者の集いは同じ町の人達が集まるので地元の言葉でお話ができる、最高のストレス解消になります。
自主避難者は賠償金をあてにしていないので、どのように自立しているか、自主避難者同士の交流会があってほしいです。
避難元の言葉(方言)を聞きたい、日帰り旅行を企画してほしい。
1度参加しましたが、知り合いの方はひとりもなく、参加してもわびしい感じがしました。



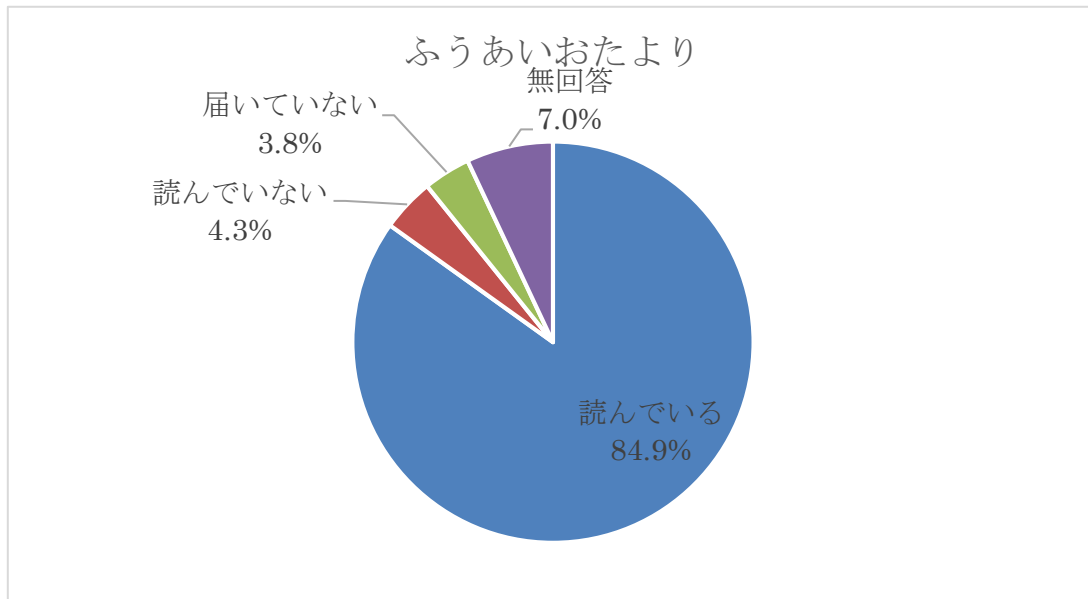
茨城に居住して日が浅いため地理が不案内です。イベント・交流会等の交通便、地図等載せて下されば助かります。
運転に自信がないので近くである場合は参加している。
東京でなく茨城県で願(ママ)
情報がない
遠方である。日程を知るのが遅い時があって間に合わない。内容が不明。
市の交流や自治体の交流情報がほしいです。
仕事が忙しくいけない。
水戸地区では、割と若い世代の事業が多い様な気がします。高齢になると、ちょっと遠い所での会には、二の足を踏んでしまう。
開催情報を知りたい。
大熊町民で立ち上げた「積小為大」という会に月1回集まり、おしゃべりをします。
たまたま交流会の日が自分の都合が悪いから行けない。続けて行って欲しい。
助成金が減るっぽうですが、小規模でもいいから居場所作りを長く続けてほしい。
参加したいが、行く事が出来ない。
人それぞれだと思います。

(32) 以下の内容について、その必要性を5段階で評価してください。



(33) [すべての方へ] 定期的に送付される「ふうあいおたより」は読んでいますか？

1. 読んでいる      2. 読んでいない      3. 届いていない



(34) 「ふうあいおたより」への感想や、掲載してほしい内容を教えてください。

- 自由記述 45件

楽しい情報ありがとうございます。
提供までの準備等に感謝している。内容も楽しみ。事務局が遠いので身近な(細かい事柄)・・・遠慮してしまう。高齢であり聴力に困難がある故。神奈川との交流会は楽しかったです。
あまり良くは読んでいない
県外に生活している人が、元の町の復興を望んでいるのか知りたい。
県北、県南に分けた催し、情報などあれば…。それぞれ、遠くて出向けない。ふうあい便り 楽しみに拝見させていただきます。ありがとうございます。
自主避難者向けでないので読まない。国や東電は一切信じられない。
復興庁からの予算で行っていると思うので、会計報告を情報開示して欲しい。というか税金なので、報告をすべきだと思う。
いつもお手数をおかけして、本当に感謝しています。ありがとうございます。
浪江には、お墓参りに帰る程度でそのまま帰宅しています。ふくしまフォトアルバムは懐かしい所に自分が戻った感じがしました。
いつも楽しく拝見しております。ありがとう御座います。
避難者の生活ぶりが少しわかるので、興味深いです。イベントの内容などのると面白いと思う。子育て世代が、住民票をうつしているか、なかなか情報がないのでアンケートなど載せてほしい。

町の広報とは別の情報があるので読ませて頂いております
ありがたく、情報として読んでいますがそれだけです。茨城の風土、歴史など、体験できる趣味・各種のお誘いなど興味あります。
今迄通りで良い。
ふうあいおたよりをいつも楽しみに読ませてもらっております。これからもよろしく願います。
被災者だという意識で生活していないので(私たち家族)、「ふうあいおたより」を送付していただけるのはありがたいが、必要と感じていない。
高令の為、諸行事には参加できませんが毎号楽しみに読んでいます。
地元の様子がわかるので、お願いしたい。
避難生活による不安不満など負の部分の意見もたくさん取り上げて欲しい。皆さんの思いを聞く事によって前向きな気持ちになれるヒントが出てくるような気がします。
初めて届いた 10月
いつも ありがとうございます。
有難いです。
今後の交流会などの情報。
これからも、よろしく。
ふうあいおたよりを読んでいますがほとんど広範囲すぎて利用できない。今後はふうあいおたよりを必要とするか聞いて送くらなくても良いと回答した人には中止しても良いと思います。
特になし。お疲れさまです。
ありがたいです。
いつも お送りいただき感謝しています。目が不自由なのと、体調不良が続いているので、決まった日に動く事がむずかしいため、集会には参加できませんが、いつも楽しく読んでいます。
避難している人、又は地元の方周りの方の声を募って掲載したら、皆さんに読んでもらえるなあという感じがして良いと思う。
自分が知っている人の記事が載っていると嬉しくなる。直に TELしてコミュニケーションをとる。
避難指示区域毎の情報が分かりやすいと、いいと思います。
自分の町以外の状況も判るので読んでいる。
ふうあいおたより、有りありがとうございます。
もしもの時のために今からやっておくべきことベスト5
開催場所が、遠く、人数制限も少ない。高齢者には、きついと思う。高齢者目線で、もう少し考えてほしいと思う。
避難してから、いわき市で受けていた健康診だんを一度も受ける事ができていません。体調が悪くなった時に、実費で、婦人科や内科へ行き、検査を受けています。市の健康診だんを、公民館などで水戸市民といっしょに受けたいです。

茨城県内に避難してきて今までお便り等は見てきました。「ふうあい」さんが主催して下さった賠償説明会等、県内で開催していただいて、子育ての合間に参加できたこと、また他県の方々にも親身に寄り添ってくださる気持ちには、とても感謝しています。ありがとうございます。

震災から時間も経過して、個々で決着をつけないとならない案件が多くなり、現居住地と元の場所とのこれからなことなど迷うことばかりですが、情報をいただけることは、私達はありがたいと思っております。人間として見守ってくださり、支えてくださるお気持ちには力を頂いております。感謝しております。

よくお世話をしてくれていると感謝しております。

牛久市の方でも、参加できる事があればいいです。

色々とお気使い頂き有難うございます。

本当に助けがほしいです。

活動が、平日が多く参加が難しい。子どもの行事以外での休みを取っての参加は難しいです。どんな世帯でも参加しやすい日程、場所だと良かったです。

個人でADR(紛争解決センター)に手続き進行形ですが情報不足しており、弁護士の選定や紛争事例などむずかしい。支援や情報提供など必要です。東電の弁護士と戦うことは不可能に思える。

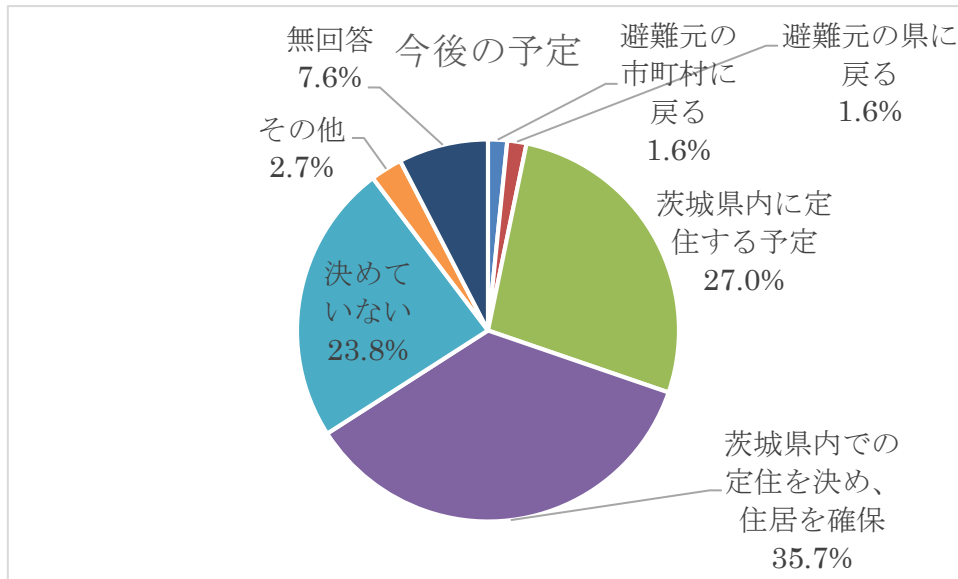
いつも郵送してくれてありがとうございます。楽しみにしているので、これからもよろしくお願い致します。

地元の仕事に対する情勢や景気動向を知りたいです。いわき地区に限っての事です。

#### 4. 今後について

(35) 今後の予定について教えてください。

1. 避難元の市町村に戻る
2. 避難元の県に戻る
3. 茨城県内に定住する予定
4. 茨城県内での定住を決め、住居を確保した
5. 決めていない・決められない
6. その他 ( )



**(36) [みなし仮設住宅にお住まいだった自主避難の方のみ回答]**

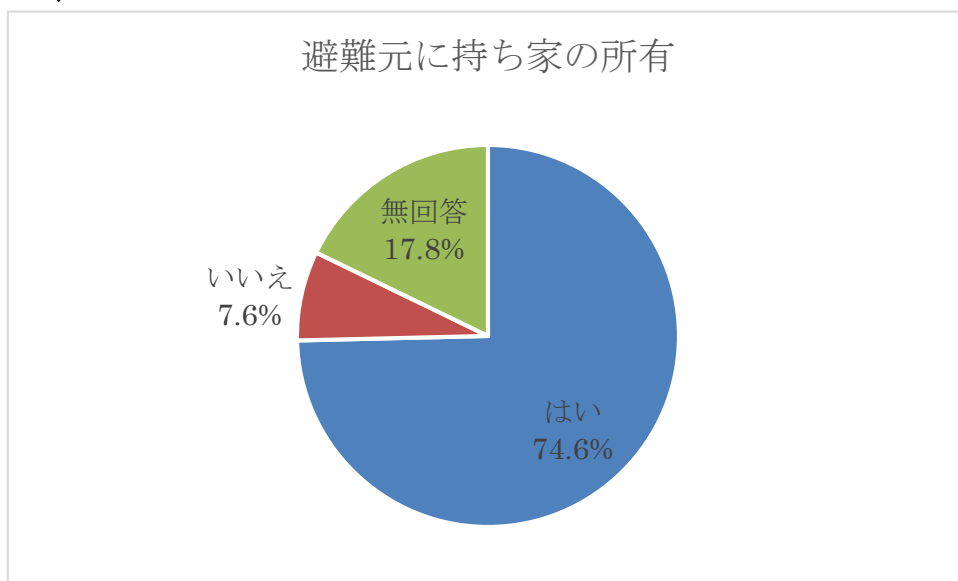
政府・福島県は、自主避難者のみなし仮設住宅の入居期限を2017年3月末で終了しました。みなし仮設の供与期間終了後、住居はどのようにされましたか？

1. お住まいの住宅に継続入居
2. 茨城県内で他の民間賃貸住宅等へ転居
3. 茨城県内の公営住宅へ入居
4. 住宅を購入

⇒回答数が少数であったため、省略

**(37) 震災時、避難元に持ち家（戸建て）を所有していましたか？**

1. はい
2. いいえ（問43へ）



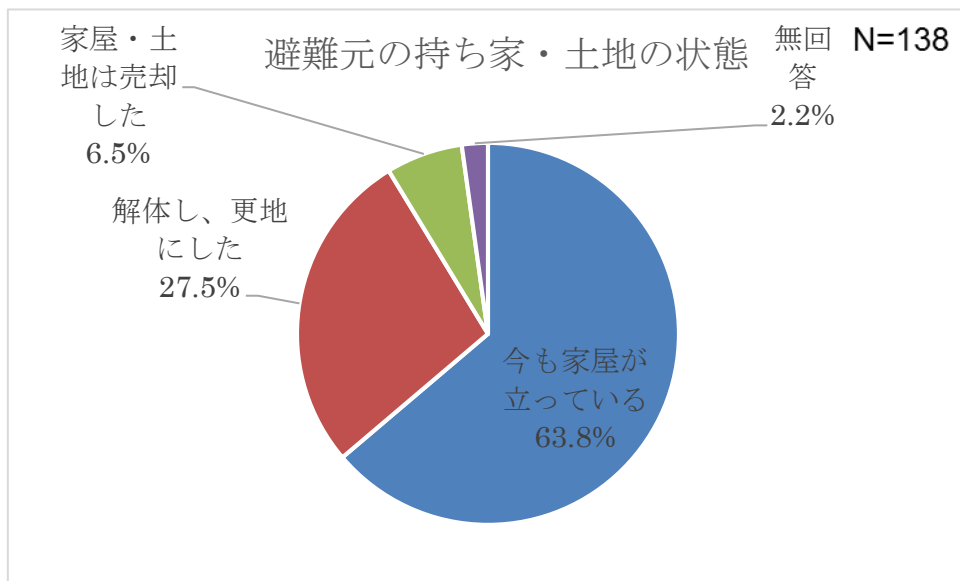
(38) 元の持ち家・土地の状態は、どれにあてはまりますか？

1. 今も家屋が建っている      2. 解体し、更地にした      3. 家屋・土地は売却した

↓問 39 へ

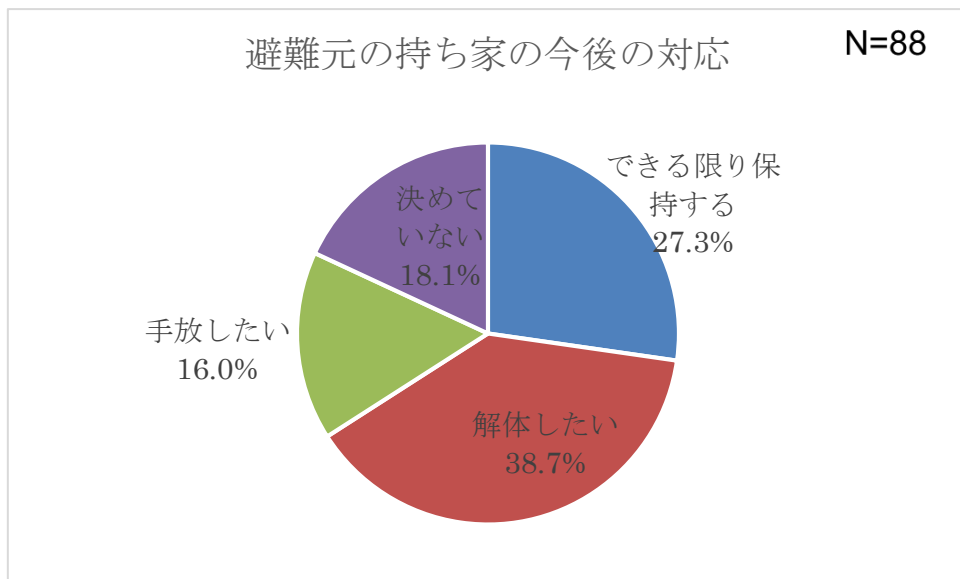
↓問 40 へ

↓問 42 へ



(39) 元の持ち家について、今後の対応としてどのようにお考えですか？

1. できる限り保持する      2. 解体したい      3. 手放したい      4. 決めていない



(40) 元の土地について、今後の対応としてどのようにお考えですか？

1. できる限り保持する      2. 手放したい      3. 決めていない



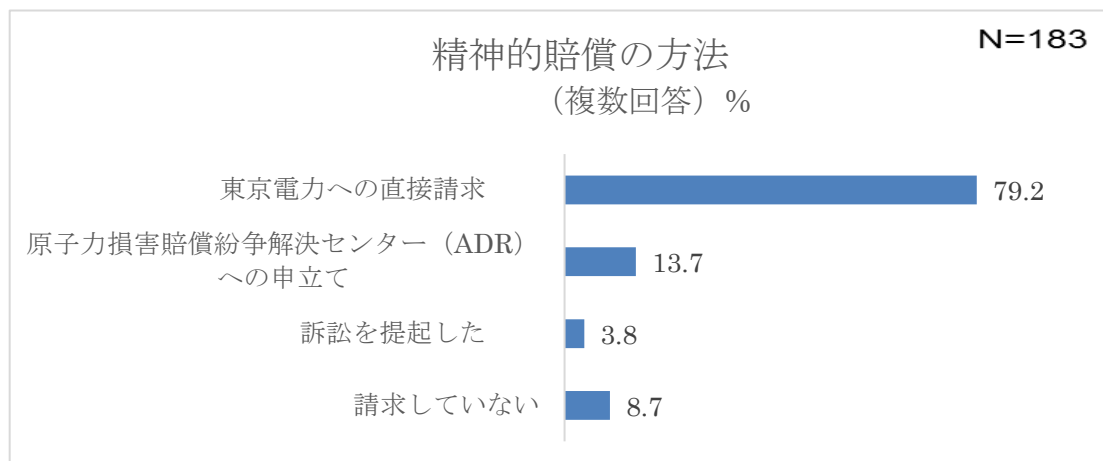




(44-1) 精神的被害の損害賠償請求について、以下のどの方法を活用されましたか？

(〇はいくつでも)

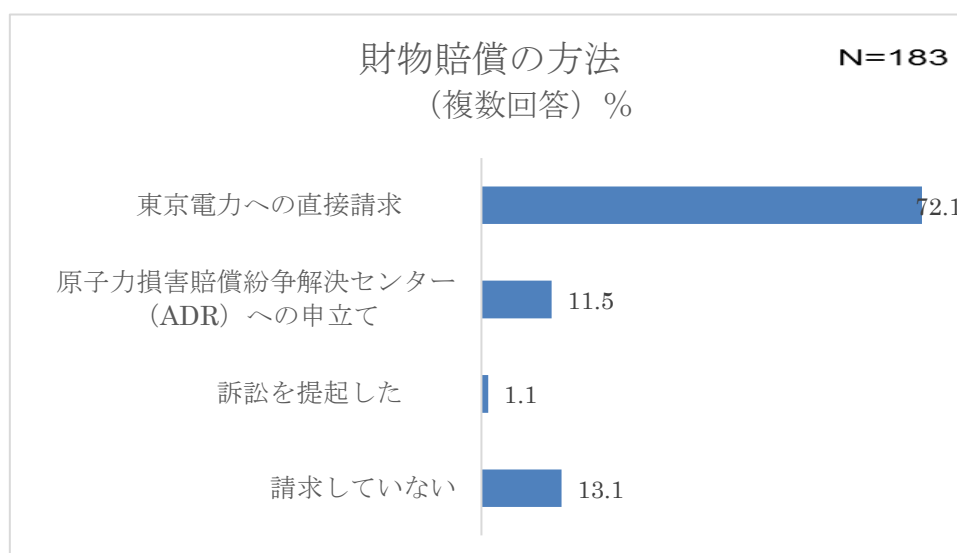
1. 東京電力への直接請求
2. 原子力損害賠償紛争解決センター(ADR)に申立てをした
3. 訴訟を提起した
4. 請求していない



(44-2) 土地・家屋等の財物賠償について、以下のどの方法を活用されましたか？

(〇はいくつでも)

1. 東京電力への直接請求
2. 原子力損害賠償紛争解決センター(ADR)に申立てをした
3. 訴訟を提起した
4. 請求していない

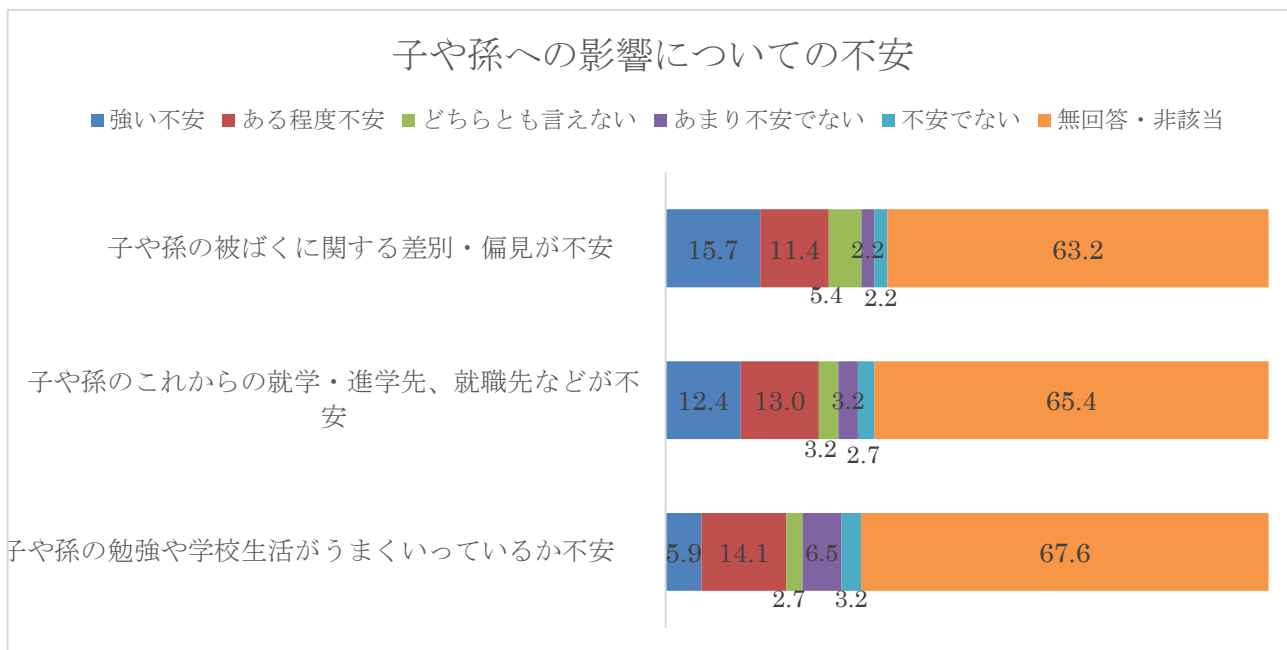


**6. 子育て・お子さまの状況について** 子どもや孫がいない方は、7.へお進みください。

(45) 子や孫への影響について、あてはまる選択肢を下から選びそれぞれご記入ください。

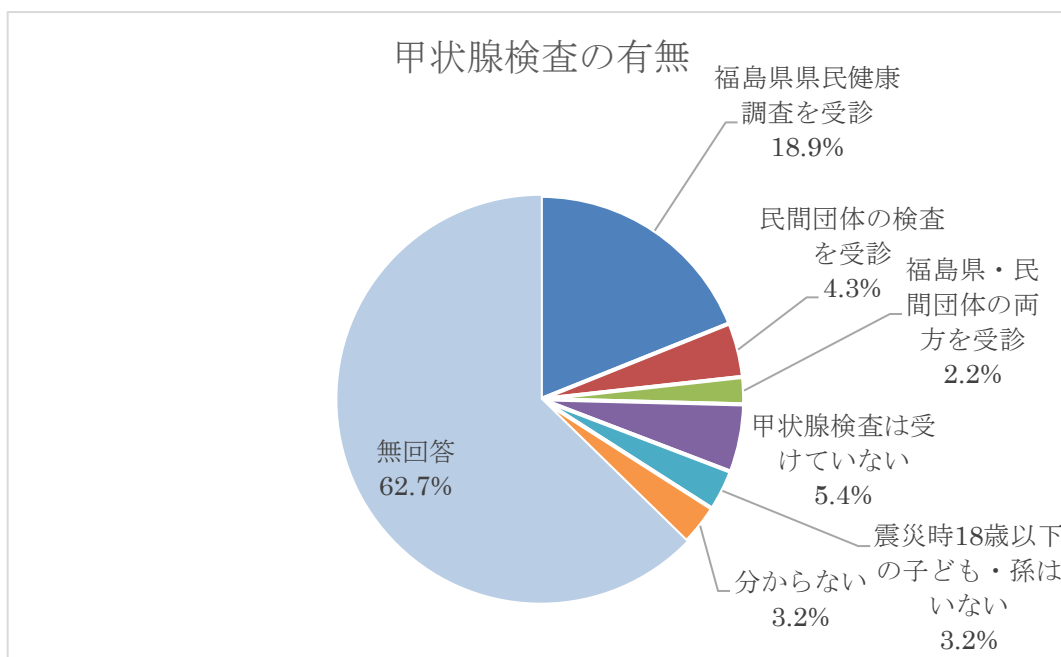
- ①子や孫の勉強や学校生活がうまくいっているか不安 ( )
- ②子や孫のこれからの就学・進学先、就職先などが不安( )
- ③子や孫の被ばくに関する差別・偏見が不安 ( )

1. 強い不安 2. ある程度不安 3. どちらとも言えない 4. あまり不安でない 5. 不安でない



(46) 震災時、18歳以下だったお子さん・お孫さんは、放射線影響にかかわる甲状腺検査を受けていますか？ 20歳までは過去2年、20歳以上は5年間の受診状況をお答えください。

- 1. 福島県県民健康調査を受診
- 2. 民間団体の検査を受診
- 3. 福島県・民間団体の両方を受診
- 4. 甲状腺検査は受けていない
- 5. 震災時18歳以下の子ども・孫はいない
- 6. 分からない



## 7. 国・県・自治体・支援団体への要望（自由回答）

(47) 国・被災地元の県市町村・茨城県・県内市町村・茨城県内の支援団体等への要望を自由にお書き下さい。

○記入件数 59件

大変お世話になっております。災害は、私たちだけではありませんので、他の人にもごはいり願います。
問題や課題について一刻も早く対処してほしい。加齢による不安で(整理(けじめ)引継者いない)ある。
どこで死んだらいいかわからない！
せめて避難元への移動については、しばらく高速通交(ママ)の料金の無料化を続けていただきたい。
住民票を特例として、現住所と元住所と二つ持てるようにして欲しい。土地、家の価値がつかなくなったので、避難解除になっても、固定資産税を取るのはやめて欲しい。
借上げ住宅の期間延長を望む。
被災地元の今後の田畑、山林等管理が困難な状況になることが明らかで、後継者が地元に戻らないと決めていることから、今後どうすれば良いのか分からない。
国⇒県外に居住している人の田畑山林の買上げ。元の県・市町村⇒少数の帰還の復興はむだ
新築で一度も入っていない家を売却した。大損害を賠償してほしい！
放射線講習会。安定ヨウ素剤など。

年齢や被災のストレスにより、体の不調が続いています。今後共、医療費の免除を強く望みます。お願いします。無くなった場合、生活が非常に大変になります。

夫)要介護1、デイサービス等でお世話になっています。ケアマネが夫の要望をよく聴いてくださり感謝しています。

妻)健康・生きがいづくり協議会の会員に入れて頂き、地元の人達との交流をさせてもらっています。水戸市は、福祉面が充実していて、その恩恵を私たちが受けることができ有難いです。

被災者の雇用の斡旋をして頂きたい。年齢が…という点で、すぐにはじかれてしまう。震災さえなければ…いつも思ってしまう。仮に職に就けば被災者は金があつていいな、とか、いくら賠償金もらえたの?とか、必ず聞かれるし、職が四十半ばなのに落ち着かない。どうしたらいいんですか?野たれ死にしるって事ですか?

3.11の事故は忘れ去られている気がする。老後がとても心配です。子ども達が近くにおらず、墓もいらないと思っています。散骨が簡単に出来れば助かります。

汚染源(デブリ)が残っているのに、復興を急ぐやり方に疑問を持っています。まず汚染源を取り除くほうが先決です。デブリが今の状況で安全という説明も聞こえてきません。

高速道路無料化が打ち切りにならないようお願いします。南相馬市には、冠婚葬祭、集会等で月3~4回帰ります。

国(経産省、国交省)の願いで会社を日立で復興したが、7年以上経過しても国からは何の恩恵もなく、会社は厳しくなるばかりで、従業員は半分以上退職してしまった。

被災者であるという事をあまり人に言いたくなく、話しの流れで被災者という事が長くつきあうと相手がかかってしまう。そうなるややはり賠償金もらってるからお金があると思われ、服装、車、バックなどなど気を使わなければならない肩身の狭い思いをずっとしていかなければならないという事を知ってほしい。この件は支援の要望ではないが、ただずっと肩身が狭いという事をわかってほしい。

国保税、固定資産税、住民税等の免除、減免の延伸。

高齢者となり何の役にも立たない自分が悲しいです。知らない人達だから、自分の気持ち等本心は言えません。古里が恋しいです。

住民票をうつしていません。今後、子供が就学するにあたり、不利がないようにお願いしたいです。高速道路の減免を継続してほしい。

打ち切って欲しい。自立して、前向きに再建していくしかない、心が決まってくと思う。いつまでも支援が必要な人には、個別に自治体が関わるべきと思います。差別感があります。

住所が南相馬市にあるので、茨城県のディの利用の時にお互いの市役所、ケアマネージャーとのやり取りに時間がかかり過ぎて、スムーズに利用できない。2ヶ所利用したくても、1ヶ所しか行けていない。

宅地を2ヶ所持っていたが、今後草刈りに通うのが心配です。老後、収入が亡くなる前にお墓まで買っておいたのですが、ひたちなか市で新たに買えるか不安です。

<p>20 km圏内の人々への賠償金が延々と続いている事への不満があります。いつまでも賠償金に甘えることは税金の無駄遣いであり、その後の色々な災害で人々は苦勞をしているのに、原発にかかわっているだけで、必要以上の賠償金で豊かになっているのがおかしいです。</p>
<p>基本聞かないと答えない、教えない、アドバイス無し、の場所なので、まわりにいる親切な方のおかげで手続き等をしています。トンチンカンなアンケートは不要です。本人は知的障がいがあるので、代筆しました(姉)。</p>
<p>国へ: 居住制限区域ですが、外より室内の線量が高くて帰りたいが帰れない。1F(階)より2F(階)のほうが倍高い。</p>
<p>東海第二原発の廃炉を願う。</p>
<p>書く言葉が浮かびません。</p>
<p>避難生活は同様なのに、賠償金の格差が大きすぎる。持ち家、土地に関しては、国が買い取るべきだと思う。現状把握をもっとするべきだと思う。</p>
<p>総合健診が可能な病院を増やしてほしい。せめて、避難している市町村内で受診可能にしてほしい。はなれて避難生活をしている両親は、市内で受けられなくなった3年前から受診せず、乳がんの発見が遅れてしまった。すべてを平等には言わなけれど、最低限の平等を求めます。</p>
<p>避難生活2年後くらいから、皮膚病「乾癬」が発症。…新薬「オデズラ錠」使用中。医療費特例免除の継続を要望したい。</p>
<p>近所の付き合い、仕事での不安などで精神的な事が多い人がいると思います。訪問やTELなどでの話などを聞いてほしい。</p>
<p>高速料金免除、医療費一部負担金免除は助かっています。ずっと続くと良いです。</p>
<p>家屋は解体申請しましたが、その後、土地の売却について、国又は町が買上げをすべきであると思います。一般の方が買うなど有り得ないため、行政が考えるべきではないでしょうか。</p>
<p>水戸での生活上の情報などの支援をお願いしたい。</p>
<p>高萩市は保健師さんを派遣してくれたり、お茶会を開催してくれたり、良くしてくれると思っています。</p>
<p>廃地同然の土地の税金を免除(全額)して!! 土地の売り先を探してください。</p>
<p>県外の支援団体の活動が見える形で周知してほしい。* 地元のボランティア活動に参加したいと調べたら、水戸市では資格等の条件があり、県外者はちょっと参加できないのかな?と感じました。</p>
<p>被災元の県に復興庁あるうちは、県職員派遣(避難者多い県への)は希望します。郵便物が送られてくるだけでは、心もとないですね。</p>
<p>茨城に定住を決めて7年。近所には、何も話をしていないので、大熊町、東電と書かれた郵便物が届くのも嫌なぐらいです。古くからの友人も郡山、つくば、南相馬とはなれているので、会話をする人がいない。月に1回の交流会を楽しみに外出をしています。</p>

<p>避難生活と、子供を抱えた日々の生活、就業場所が遠いなど、日々の生活がとても忙しく、なかなか先の事、住居の事など、検討する時間も無い。今後の道筋も避難元でも何も決まっていない。これからどうしたらいいのか、教えてほしい。</p>
<p>国の本音としては、済んだことにしたいのだろうが、せめて復興という建前は、五輪後も保持を望む。</p>
<p>農作物の放射能を計る線量計を個人で使われる機器を、いくらでもいいから助成してほしいです。</p>
<p>これから引越は大変なので、現状のまま住宅を提供してほしい。</p>
<p>それぞれ賠償にかかる時間がまちまちななか、なかなか進まない方がおきざりにされて、いろいろな（本来なら手続きできるであろう）軽減措置もなくなり、賠償手続きもきびしくなり、家を求めるのも、途中で止まって先に進めずにいます。失敗しない土地、家の求め方をもっと早く相談できる所がほしかったです。もう…なんかつかれました。</p>
<p>できるだけ早く復興お願いします。</p>
<p>8年もたってしまって、要望も何もないです。賠償も短いし、支援も薄い。何もかも、じっと耐えているのが現状です。当事者しか分からないけど、もっともっと支援して頂きたい事ばかり。机上での判断しかして頂けないのが、今の日本です。</p>
<p>健康診断（無料）を受けたい。甲状腺検査を受けるために、いわき市まで帰れない。避難前は、家族で住んでいましたが、私と子ども二人で水戸に住んでいますが、いわき市に居る家族は、子どもにとって祖父母なので家族ではないと言われ、高速道路の無料の申請は断られました。出来ないものなのか…。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺検査での欠席があり、1年間の皆勤賞ととならない、子供が検査で休んだのに、と言っていたことがあり、親としても残念な気持ちとなった。</li> <li>・住民票を移していないことへの避難先への罪悪感を拭ってほしいです。</li> <li>・相続が発生して、避難元に住んでいない人が、遺留分ということで権利の行使を強く訴えておりますが、被災者の権利の優劣の法的な解釈を明確にして頂きたいです。</li> <li>・今の制度のままでは、震災の被害にもあわずに、苦しい時に親の面倒すらみなかった人が、遺留分をたてにして、東電賠償の上乗せ分を着服できる制度となっていることに強い憤りを感じます。</li> </ul>
<p>双葉郡の原発立地自治体は、国・県と共に原発に恩恵を受けた自治体である認識と、被害自治体ではあるが安全管理等（危機管理）に関して責任があった事実も含め、加害自治体である事を認識して、事故以前の原発事業や補助金、税に頼らない自治体になる事を考えてほしい!!</p>
<p>高速料金の無料化を継続してほしいと思います。</p>
<p>色々な面で精神的に追い込まれて、市を考える事がある。</p>
<p>ふうあいねつとには、長い間、お世話になりました。これからも、頑張ってください。 避難先の土浦の公共機関、学校関係、お母さま父兄、皆様に本当に良くして貰いました。有難うございました。</p>

茨城県で警備員をして、細々と同居人3人(+1人)でやっていますが、今年、事故で車がなくなって、66歳になってもうローンが組めなくなって、本当に保険の切り崩しなどで四苦八苦。静かに普通に過ごしていければそれだけ。やっぱり助けがほしいです。

モルモットの意見は、反映されないとあきらめています。

国、東電よりの弁護士でない人、人道支援の強い弁護士などの情報が欲しい。ADRの仲介案しないで民事訴訟も考えているので。茨城県、福島県、その他の弁護士。

原子力に頼るのはやめたほうがいい(日本全体の問題)。風力、水力、火力で電気をまかなえたら安全です!!安全第一。“第二の福島県を出してはいけない”年より、子供がかわいそうです。

茨城県にお世話になり、7年が過ぎました。ようやく地元へ帰れるようになったので、安堵感にひたっております。

以 上 ■

ご協力いただき、ありがとうございました。